

和歌山県立新宮高等学校全日制課程普通科の改編について

和歌山県立新宮高等学校では、2022年度から文部科学省「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」の指定を受け、普通教育を主としながら、教科等横断的・探究的な学習の実現に向けた研究を進めてまいりました。このたび、これまでの取組を踏まえ、従来の全日制課程普通科を「普通科」と「学彩探究科^{※1}」に改編します。

両学科ともに普通教育を主としながら、「総合的な探究の時間」や各教科・科目等における探究学習を中心とした教育活動全般を通して、「探究的な学び」を充実させます。

新たに設置する学彩探究科では、学校設定科目「くまの学彩（仮称）」や「総合的な探究の時間」において、関係機関とも連携し、現代社会が抱える複雑な諸課題に対応した分野横断的な学びを進め、地域社会や国内外でリーダー・イノベーターとして活躍することができる生徒の育成を目指します。高い進路目標を実現するため、確かな学力の伸長を図りながら、主体性・協働力・問題発見力・課題解決力・創造力・表現力等の、「自ら社会や自己の課題を発見し、仲間とともにその課題を解決する力」を養成します。



- ・「学彩探究科」で全国募集を実施します。
- ・各学科の定員については、「和歌山県立高等学校 学校別・学科別募集定員」の発表時に公表（10月下旬予定）します。

※1 学校教育法施行規則等の一部を改正する省令等（2021年3月31日公布）により、高等学校等の特色化・魅力化に向けて、「普通教育を主とする学科」として「学際領域に関する学科」や「地域社会に関する学科」等の普通科以外の学科の設置が可能となりました。今回設置する「学彩探究科」は、この「学際領域に関する学科」に該当します。

「学彩」には、分野横断的な学びという「学際」の意味や「多彩な学びを実現する」という思いが込められています。新宮高等学校に縁の深い「彩雲」と繋がり、新宮高等学校らしい新たな学びの創造も表しています。